

電機・情報ユニオン

2015年11月10日 第50号

発行 **電機・情報ユニオン**

〒142-0043 東京都品川区二葉

2-20-8染野ビル 2F

Tel03-6421-5323、Fax03-6421-5324

Email: denkiunion@gmail.com

たたかいも組織拡大も大きく前進 東京支部 第5回定期大会

東京支部は支部結成以来の4年間で組合員を3・1倍に増勢させる中、10月18日(日)に国分寺労働会館(東京都)で第5回定期大会を30人(来賓3人、役員10人、組合員17人)の出席で開催しました。

米田徳治委員長は「東京支部が増勢で大会を迎えられたことを皆さんと一緒に喜びたい。電機の人減らしリストラは27万人を超える勢いであり、日立の『常時リストラ・黒字リストラ』や東芝の粉飾決算を労働者に転嫁する施策を計画しており、止まらない」と強調。「東京支部が、ユニオン



主催者あいさつする米田徳治委員長

全体を引っ張っていくことが求められている」と訴えました。

ユニオンに期待したい
東京地評の屋代眞事務

局次長は「労働者の救済、労働条件の改善、業界団体への要請などの奮闘に敬意を表す」、三多摩労働の坂ノ下征稔事務局長は「リストラ闘争の中で増勢実現、16春闘アソケート葉書配布活動とともに取り組みたい」、松尾文彦弁護士は、軍事大国日本をヒットラーのやり方と比較して危険性を指摘し、「ユニオンに期待する」と、熱い来賓あいさつを行いました。

9人がたたかいを発言

谷口利男書記長は、この間の闘いを反映した第5回定期大会議案を提案しました。

討議は、9人がたたかいを発言しました(左表)。第5期の支部役員は、三役で構成される「支部役員選考委員会」が推薦する役員が拍手で選任されました。

選出された執行委員会を代表して、米田徳治委員長が既存の労組内での活動の重視も触れ、加入した組合員の生活と権利を守る活動を強化すると決意を表明しました。

閉会挨拶は、新任の佐々木副委員長が行ない、団結がんばろう三唱で、第5期もいっそう前進する決意を固めました。(谷口利男)

大会での発言

- ① 群馬支部結成の責任者・契約解除された女性性が1年で解決した報告。日本CMKで2工場の閉鎖が発表され、相談者が加入。
- ② 富士通関連の現職・退職強要とのたたかい。
- ③ ルネサス武蔵の現職・CEOが交代したことで相対評価制度が廃止されたが、「KPI」を導入。人員増で昼休みが5シフト、トイレ難民が発生。
- ④ GEヘルスケアの現職・労災事案が労災認定されず、再審査請求。行政訴訟も行ったが、高裁の控訴審で敗訴した。自分の業務は年内で無くなる。
- ⑤ 日立超Lの現職・昨年、派遣会社UTエイトとの団交でリクスルへの出向を解除させ

たが、当日に自分の職探しするのが業務命令と言われパソナに出向させられ、12月が期限と言われている。
⑥ ルネサス武蔵の現職・不法不当に高崎転勤を言われ、皆さんの支援を受け闘いの中で武蔵に戻れた。
⑦ ラピスの再雇用解除との闘いで、65歳になる1年前に解決を図るように解決交渉を実施。19日に2回目の交渉を行う。
⑧ NEC埼玉閉鎖との闘いで、10月14日に埼玉電機懇などの支援を得て宣伝行動を実施。沖電気での契約解除との闘いで、目の障害を発症した労働者を雇用すべきと団交を実施。会社は能力が劣ると主張。障がい者雇用率で追求する。

第50号の紹介

- 1面 東京支部第5回定期大会
- 2面 16年春闘要求アンケート葉書スタート
「国民連合政府」提案で藤野議員と懇談
米田委員長メッセージ40
- 3面 日立でリストラと闘う仲間を励ます集い
神奈川支部第6回定期大会
- 4面 交流のひろば、告知板